

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	小学校運営事業	会計名称	一般会計		担当課	学校教育課	
		予算科目	10 款 2 項 1 目	事業番号	4250	所属長名	佐々木正孝
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	福岡富美子	
法令根拠等	学校教育法第5条				実施期間	【開始】	令和/平成 17 年度
総合計画での位置付け	生涯学習都市の創造 学校教育環境の整備・充実					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	安全・安心な学校づくりと教育環境の整備に寄与する。						
事業の対象	市内小学校			事業の目的	教育現場の安全・安心性を確保するため、各学校の管理・運営等を適切に行い、いって学校教育の充実を図る。		
事業の内容 (整備内容)	市立小学校9校の運営管理。			昨年度の課題に対する具体的な改善策	小中学校空気調和設備設置事業維持管理業務委託により各学校の電力使用状況を調査、検証を行う。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	3年度予定	9月末の実績	3年度実績
直接事業費	139,772	153,862	16,523	0	0	163,739	学校数 (5月1日時点)	校	9	9	9	9
財源内訳						0						
国庫支出金		0	0	0	0	0						
県支出金		0	0	0	0	0						
地方債		0	0	0	0	0						
その他	1,823	0	0	0	0	6,181	学級数 (5月1日時点)	学級	94	94	94	94
一般財源	137,949	153,862	16,523	0	0	157,558						
職員の人工 (にんく) 数	1.50	1.50				1.50	児童数 (5月1日時点)	人	1904	1877	1877	1877
1人工当たりの人件費単価	7,812	7,841				7,841						
※ 直接事業費+人件費	151,490	165,624				175,501						
主な実施主体	直接実施<校務員 7人・学校生活支援員 25人・ICT支援員 1人>		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)									
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	5年間の合計		
					150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	750,000		
成果指標	指標		単位		⇒	区分年度	前年度	3年度	4年度	目標	毎年度	
	指標設定の考え方	小学校施設の維持管理に必要な経費のため、成果指標は設定しない。				目標						
	指標で表せない効果	施設の運営等に要する経費であり、適正な教育活動や教育環境の維持に寄与する事業である。										

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		小中学校空調調和設備設置事業委託による上半期報告で、消費電力が基準値を超えていたのは1校で、エアコン稼働中に窓を全開にして換気を実施していることや、立地により室内温度が高湿となることが考察された。									
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	合計点が	S	事業成果・工夫した点	GIGAスクール構想による環境整備のため、小中学校ICT支援業務委託、持ち帰り用ACアダプタ、ポケットWifi、プリンター及び授業目的の公衆送信補償金の導入を行った。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1					
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4 3 2 1	合計点が	A			
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4 3 2 1					
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4 3 2 1					
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4 3 2 1	合計点が	A				
		コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4 3 2 1						
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4 3 2 1						
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	合計点が	A	事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 小学校9校の管理運営費であることから、今後とも適切に実施する必要がある。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1					
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4 3 2 1	合計点が	A				
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4 3 2 1						
		施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4 3 2 1						
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4 3 2 1	合計点が	A					
	コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4 3 2 1							
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4 3 2 1							
所属長の課題認識									コロナ禍における夏場の授業では、窓を開けて換気を行いながらの授業となり、より電気代がかかってしまう。いたしかたないことは考えるが、節電について学校側にも理解を求める必要がある。		

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 コロナ禍での授業ということで、夏場は窓を開けて換気を行いながらの授業となっている。いたしかたないことと考えるが、一定、学校側にも節電を呼びかける必要があると考える。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	